

A 会場（3F 国際会議室）

9:00～11:00 スポンサーシンポジウム2【リンフォーマ～基礎から臨床まで～】

抄録 P. 150

座長：菅谷 誠（国際医療福祉大学 皮膚科）
藤本 学（大阪大学 皮膚科）

SSY2-1 皮膚 T 細胞リンパ腫における悪性 T 細胞と良性 T 細胞

渡辺 玲（わたなべ れい）
大阪大学 アレルギー免疫疾患統合医療学

SSY2-2 本邦の皮膚リンパ腫の疫学

藤井一恭（ふじい かずやす）
鹿児島大学 皮膚科

SSY2-3 皮膚リンパ腫治療における光線の功罪

森脇真一（もりわき しんいち）
大阪医科薬科大学 皮膚科

SSY2-4 皮膚 T 細胞リンパ腫治療とベキサロテン

宮垣朝光（みやがき ともみつ）
聖マリアンナ医科大学 皮膚科

共催：株式会社ミノファージェン製薬

11:25～12:25 特別講演 3

抄録 P. 77

座長：森田 明理（名古屋市立大学 皮膚科）

SP3 制御性 T 細胞と癌免疫

坂口志文（さかぐち しもん）
大阪大学免疫学フロンティア研究センター 実験免疫学

12:30～13:30 ランチョンセミナー 5【メルケル細胞癌治療 2023 ～これまでの臨床経験から最適な治療を考える～】

抄録 P. 175

座長：寺師 浩人（神戸大学 形成外科）
田中 勝（東京女子医科大学足立医療センター 皮膚科）

LS5-1 海外のガイドラインからみえてくるメルケル細胞癌のマネジメント

加藤潤史（かとう じゅんじ）
札幌医科大学 皮膚科

LS5-2 メルケル細胞癌診療のこれまでとこれから

永瀬浩太郎 (ながせ こうたろう)
佐賀県医療センター好生館 皮膚科

共催：メルクバイオフーマ株式会社

13:45～15:45 シンポジウム 5 【最良の再建を目指して】

抄録 P. 110

座長：中岡 啓喜 (愛媛大学 形成外科)
寺師 浩人 (神戸大学 形成外科)

SY5-1 眼瞼・眼窩皮膚悪性腫瘍における腫瘍完全切除と機能と整容を兼ね備えた最良の再建を目指して

吉龍澄子 (よしたつ すみこ)
国立病院機構 大阪医療センター 形成外科

SY5-2 最良の外鼻再建を目指す必要条件とは

野村 正 (のむら ただし)、榊原俊介、寺師浩人
神戸大学 形成外科

SY5-3 皮膚悪性腫瘍患者へ最良の再建を行うために：基本の整理

古川洋志¹ (ふるかわ ひろし)、林 利彦²、山本有平³、堤田 新⁴
¹愛知医科大学 形成外科、²旭川医科大学 形成外科、³北海道大学 形成外科、
⁴静岡がんセンター 皮膚科

SY5-4 遊離組織移植を用いた皮膚悪性腫瘍切除後の再建

田中顕太郎 (たなか けんたろう)
東京医科歯科大学 再建形成外科

15:45～16:05 閉会式

9:00~10:00 ワークショップ 1【メラノーマの外科治療 update】 抄録 P. 119

座長：竹之内辰也（新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科）
為政 大幾（大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科）

WS1-1 原発巣の外科治療

鹿見山浩（かごやま こう）
富山大学 皮膚科

WS1-2 皮膚悪性腫瘍のリンパ流を考慮したリンパ節郭清術の範囲と手技の実際

前田 拓¹（まえだ たく）、林 利彦²、古川洋志³、石川耕資¹、北條正洋¹、山本有平¹
¹北海道大学 形成外科、²旭川医科大学 形成外科、³愛知医科大学 形成外科

WS1-3 メラノーマ遠隔転移例に対する外科治療の適応について

緒方 大（おがた だい）
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

10:05~11:25 ワークショップ 2【皮膚悪性腫瘍の病理診断】 抄録 P. 122

座長：福本 隆也（福本皮フ病理診断科）
清原 隆宏（関西医科大学総合医療センター 皮膚科）

WS2-1 メラノーマの病理診断

小川浩平（おがわ こうへい）
奈良県立医科大学 皮膚科

WS2-2 有棘細胞癌

高井利浩（たかい としひろ）
兵庫県立がんセンター 皮膚科

WS2-3 乳房外 Paget 病における「臨床像と病理組織像の相関」

村田洋三（むらた ようぞう）
神戸市立医療センター中央市民病院

WS2-4 血管肉腫の病理診断

光井康博（みつい やすひろ）
奈良県総合医療センター 皮膚科

12:30~13:30 ランチョンセミナー 6【進行期 BRAF 陽性メラノーマの治療を再考する】
抄録 P. 177

座長：中村 泰大（埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科）
山本 俊幸（福島県立医科大学 皮膚科）

LS6-1 エビデンスから考える進行期 BRAF 陽性メラノーマの最適治療とは
内 博史（うち ひろし）
九州がんセンター 皮膚腫瘍科

LS6-2 進行期 BRAF 陽性メラノーマの治療戦略
—実臨床での BRAF 阻害薬+MEK 阻害薬の使用経験も含めて—
前川武雄（まえかわ たけお）
自治医科大学附属さいたま医療センター 皮膚科

共催：小野薬品工業株式会社

13:35~14:35 ワークショップ 3【治験・社会実装のためのワークショップ】
抄録 P. 126

座長：阿部理一郎（新潟大学 皮膚科）
藤村 卓（東北大学 皮膚科）

WS3-1 アカデミアにおける研究開発～出口戦略を意識した進め方～
宮下 梓（みやした あずさ）
熊本大学 皮膚科

WS3-2 医師主導治験の計画と実施（研究者目線で）
船越 建（ふなこし たける）
慶應義塾大学 皮膚科

14:45~15:45 ワークショップ 4【放射線治療の実際】
抄録 P. 128

座長：並川健二郎（国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科）
清原 祥夫（静岡県立静岡がんセンター 皮膚科）

WS4-1 皮膚がん診療における放射線治療の役割
村上直也（むらかみ なおや）
順天堂大学順天堂医院 放射線科

WS4-2 上顎洞再発と肺転移に対して定位放射線治療を行った眼瞼脂腺癌の 1 例
勝海洸司¹（かつうみ こうじ）、北山祥平¹、高塚純子¹、竹之内辰也¹、松本康男²
¹新潟県立がんセンター 皮膚科、²新潟県立がんセンター 放射線治療科

WS4-3 メラノーマに放射線治療は有効か？
爲政大幾^{1,2}（いせい たいき）
¹大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科、²医誠会病院 皮膚科

WS4-4

化学放射線療法により完全奏効が得られた鼻部原発有棘細胞癌の1例

鶴田成二¹ (つるた せいじ)、並川健二郎¹、緒方 大¹、中野英司¹、村上直也^{2,3}、
櫻町円香²、柏原大朗²、大熊加恵²、井垣 浩²、山崎直也²

¹国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、

²国立がん研究センター中央病院 放射線治療科、³順天堂大学 放射線科

WS4-5

顔面への放射線治療に伴う皮膚粘膜障害の対応に苦慮した1例

勝又文徳¹ (かつまた ふみのり)、前川武雄¹、石津久美佳¹、梅本尚可¹、福田友紀子²、
白井克幸²、出光俊郎¹

¹自治医科大学さいたま医療センター 皮膚科、²自治医科大学さいたま医療センター 放射線科

C 会場 (3F 234)

9:00~10:00 シンポジウム 3 【先端技術が切り開く未来のがん研究】 抄録 P. 107

座長：大塚 篤司 (近畿大学 皮膚科)
中村 元樹 (名古屋市立大学 皮膚科)

SY3-1 iPS 細胞由来マクロファージによるがん免疫療法

福島 聡 (ふくしま さとし)
熊本大学 皮膚科

SY3-2 免疫組織化学を活用したがん微小環境の時空間的解析

辻川敬裕^{1,2} (つじかわ たかひろ)
¹京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、
²Oregon Health & Science University Cell Developmental & Cancer Biology

10:10~11:10 シンポジウム 4 抄録 P. 109

座長：椋島 健治 (京都大学 皮膚科)

SY4 遺伝学的モザイクから考えるクローン性増殖疾患の皮膚科学

久保亮治 (くぼ あきはる)
神戸大学 皮膚科

12:30~13:30 ランチョンセミナー 7 抄録 P. 179

座長：宇原 久 (札幌医科大学 皮膚科)

LS7 神経線維腫症 1 型 (NF1/レックリングハウゼン病) における神経線維腫の診療 Up-to-date

延山嘉真 (のべやま よしまさ)
東京慈恵会医科大学 皮膚科

共催：アレクシオンファーマ合同会社

オーガナイザー：菅谷 誠（国際医療福祉大学 皮膚科）
 吉野 正（岡山大学 病理学）
 コメンテーター：新井 栄一（埼玉医科大学総合医療センター 病理部）
 市村 浩一（広島市立広島市民病院 病理診断科）
 清原 英司（大阪大学 皮膚科）
 宮垣 朝光（聖マリアンナ医科大学 皮膚科）

CPC-1 放射線治療が奏功し稀な臨床像を呈した外陰部皮膚 T 細胞性リンパ腫の 1 例
 福井伶奈¹（ふくい れいな）、梅本尚可¹、白井克幸²、岡部直太³、田中 亨³、大城 久³、
 出光俊郎¹

¹自治医科大学さいたま医療センター 皮膚科、
²自治医科大学さいたま医療センター 放射線科、
³自治医科大学さいたま医療センター 病理診断科

CPC-2* CD20-positive CD4/CD8 double-positive T-cell lymphoma の 1 例

乗松雄大¹（のりまつ ゆうた）、赤塚太郎¹、松岡朱里¹、酒井友歌¹、森村壮志¹、
 濱田利久¹、林雄一郎²、潮見隆之²、竹中亮介³、菅谷 誠¹

¹国際医療福祉大学 皮膚科、²国際医療福祉大学 病理診断科、³国際医療福祉大学 放射線科

CPC-3 Primary cutaneous marginal zone lymphoma (PCMZL) を疑った再発
 をきたす皮下腫瘍の 1 例

藤本 萌（ふじもと めぐみ）、清原英司、石塚洋典、藤本 学
 大阪大学 皮膚科

CPC-4 筋肉内腫瘍を呈した菌状息肉症

米倉健太郎¹（よねくら けんたろう）、二之宮謙次郎²、田代幸恵²

¹今村総合病院 皮膚科、²今村総合病院 病理診断科

座長：岸 晶子 (虎の門病院 皮膚科)
中島 英貴 (高知大学 皮膚科)

D-6-1 鼻骨および上顎洞前壁を含めて鼻の全摘を要し、遊離皮弁術で再建した鼻部基底細胞癌の 1 例

安井由希子 (やすい ゆきこ)、加藤裕史、中村元樹、加納慎二、森田明理
名古屋市立大学 皮膚科

D-6-2 肛門周囲に基底細胞癌を生じた基底細胞母斑症候群の 1 例

藤田邦子 (ふじた くにこ)、牧野輝彦、北山祥平、森 修一、古川史奈、鹿児島山浩、
三澤 恵、清水忠道
富山大学 皮膚科

D-6-3 Free tarsal graft によって後葉再建を行った眼瞼悪性腫瘍 10 例

木戸一成¹ (きど いっせい)、中島勇魚²、中島英貴¹、中井浩三¹
¹高知大学 皮膚科、²高知大学 眼科

D-6-4 雪状炭酸圧抵療法後の巨大色素性母斑上に基底細胞癌と Bowen 病が多発した 1 例

陣内晃子¹ (じんのうち あきこ)、田中隆光¹、伊藤誠時¹、深谷早希¹、林耕太郎¹、
石川武子¹、鎌田昌洋¹、沼倉里枝²、笹島ゆう子²、多田弥生¹
¹帝京大学 皮膚科、²帝京大学 病理診断科

D-6-5* 3次元ワイヤーフレーム外固定により治療を行った陰茎部 Bowen 病の 1 例

中曾草馬 (なかそ そうま)、大地洋輔、朝日林太郎、小野真平、小川 令
日本医科大学 形成外科・美容外科・再建外科

D-6-6* Human papillomavirus 58 型を検出した爪部 Bowen 病の 1 例

落合咲和子¹ (おちあい さわこ)、山口礼門¹、安澤数史¹、大原國章²、清水 晶¹
¹金沢医科大学 皮膚科、²赤坂虎の門クリニック

D-6-7 当院で 10 年間に経験した爪甲下悪性腫瘍のダーモスコピー所見

伊藤祐太^{1,2} (いとう ゆうた)、延山嘉真¹、長久大介²、朝比奈昭彦¹
¹東京慈恵会医科大学 皮膚科、²東京慈恵会医科大学柏病院 皮膚科

D-6-8 腎移植後、免疫抑制剤継続投与中に日光角化症、有棘細胞癌が生じた 1 例

福井玲予 (ふくい れいむ)、大西正純、佐々木夢希、宍戸明衣、浅野和奏、佐藤友利、
井上 剛、中川倫代、天野博雄
岩手医科大学 皮膚科

座長：長野 徹（神戸市立医療センター中央市民病院 皮膚科）
後藤 寛之（大阪公立大学 皮膚科）

D-7-1

放射線技師の手背に生じた有棘細胞癌と爪部悪性黒色腫

日高太陽（ひたか たいよう）、蓑川葉子、岡田悦子、澤田雄宇
産業医科大学 皮膚科

D-7-2

初回手術の14年後に再発した左足底の悪性黒色腫

芳賀貴裕¹（はが たかひろ）、高橋拓矢^{1,2}、金城賢吾^{1,3}、瀬川康二郎¹
¹気仙沼市立病院 皮膚科、²東北大学病院 皮膚科、³みやぎ県南中核病院 皮膚科

D-7-3

胆嚢摘出術により発見された原発不明悪性黒色腫胆嚢転移の1例

渡邊大起（わたなべ おおき）、中村元樹、安藤史佳、鈴木彬子、安井由希子、
吉満真紀、加納慎二、加藤裕史、森田明理
名古屋市立大学 皮膚科

D-7-4*

neurofibroma との鑑別に苦慮した desmoplastic melanoma

瀧脇道弘¹（たきわき みちひろ）、山本有紀²、岩橋吉史³、村田晋一³、福本隆也⁴、
神人正寿²

¹公立那賀病院 皮膚科、²和歌山県立医科大学 皮膚科、
³和歌山県立医科大学 病理診断学講座、⁴福本皮フ病理診断科

D-7-5

診断に苦慮した腰背部線維形成性悪性黒色腫の1例

小高愛莉奈¹（こだか えりな）、飯野志郎¹、馬場夏希¹、尾山徳孝¹、長谷川稔¹、
米元菜採²、木村純也²、福島万奈²、今村好章²、八代 浩³
¹福井大学 皮膚科、²福井大学 病理科、³福井県済生会病院 皮膚科

D-7-6

複数リンパ領域への領域リンパ節転移がみられた上背部正中原発悪性黒色腫

森 龍彦（もり たつひこ）、和泉光晃、上村杏奈、土居礼一、高井彩也華、川原 祐、
中村泰大
埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科

D-7-7

ニボルマブによる infusion reaction のためペムブロリズマブに変更し投与継続しえた足趾悪性黒色腫の1例

林 航（はやし わたる）、福山雅大、佐藤洋平、倉田麻衣子、大山 学
杏林大学 皮膚科

D-7-8*

ダーマトームを用いて土踏まずからの分層植皮を行った踵部悪性黒色腫の2例

足立孝司（あだち こうじ）、青野将太、池田彩乃、木村良子、吉田雄一
鳥取大学 皮膚科

座長：山崎 修（島根大学 皮膚科）
古賀 弘志（信州大学 皮膚科）

EL6-1 色素性腫瘍のダーモスコピー：色や形の見え方と原理

坂井浩志（さかい ひろし）
大阪大学 皮膚科

EL6-2 色素性腫瘍のダーモスコピー：診断アルゴリズムと臨床でのコツ

皆川 茜（みながわ あかね）
信州大学 皮膚科

座長：高井 利浩（兵庫県立がんセンター 皮膚科）
藤本 徳毅（滋賀医科大学 皮膚科）

EL7-1 小児爪甲色素線条のダーモスコピーから学んだこと

村田洋三（むらた ようぞう）
神戸市立医療センター中央市民病院

EL7-2 血管所見

宇原 久（うはら ひさし）
札幌医科大学 皮膚科

座長：鋤塚 大 (長崎大学 皮膚科)
飯野 志郎 (福井大学 皮膚科)

E-6-1 扁平苔癬を伴った外陰部の有棘細胞癌

中島康爾 (なかじま こうじ)、是川あゆ美
弘前総合医療センター 皮膚科

E-6-2* 脂漏性角化症の病変部から生じた有棘細胞癌の 1 例

崔 灵壽 (ちえ よんす)、平田 央、小林あい子、大迫順子、鶴田大輔
大阪公立大学 皮膚科

E-6-3* 爪甲下有棘細胞癌で指切断術に至った 1 症例

早川将史 (はやかわ まさし)
愛知医科大学 形成外科

E-6-4 硬化性萎縮性苔癬を背景に生じた外陰部有棘細胞癌の 3 例

増田百音¹ (ますだ ももね)、勝家志歩¹、佐竹宏介¹、面高俊和¹、小川英作¹、山田 靖²、
柳澤大輔³、木庭幸子¹、奥山隆平¹

¹信州大学 皮膚科、²信州大学 産婦人科、³信州大学 形成外科

E-6-5* 慢性炎症から生じたと考えられる有棘細胞癌術後再発、多発転移に化学療法を施行するも進行した 1 例

刀祢勇樹¹ (とね ゆうき)、帆足俊彦¹、水野真希¹、石原優里²、井瀨善聖¹、
古谷野理恵¹、玉寄史子³、佐伯秀久¹

¹日本医科大学 皮膚科、²日本医科大学 武蔵小杉病院 皮膚科、

³日本医科大学 多摩永山病院 皮膚科

E-6-6* TMB-high 頬部有棘細胞癌の切除不能リンパ節転移に対してペムブロリズマブで加療した 1 例

吉村有彩¹ (よしむら ありさ)、上原治朗¹、豊島梨乃¹、松崎友里江¹、北野滋久²、
吉野公二¹

¹がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科、²がん研究会有明病院 先端医療開発科

E-6-7 急速に進行し G-CSF 産生腫瘍となった HPV 陰性の陰部 SCC の 1 例

石黒暁寛 (いしぐろ あきひろ)、岩下宣彦、大谷愛美、阿部倫大、大嶋雄一郎、
渡辺大輔

愛知医科大学 皮膚科

E-6-8 小線源組織内照射が奏効した下口唇癌の 2 例

寺井沙也加 (てらい さやか)、矢村明久、北嶋友紀、伊藤真未、榎村 馨、吉田 謙、
志賀淑子、宇都宮啓太、清原隆宏

関西医科大学総合医療センター

座長：原田 和俊（東京医科大学 皮膚科）

須山 孝雪（獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科）

E-7-1***遺伝性乳癌患者に生じた手指有棘細胞癌の1例**西尾次郎（にしお じろう）、藤井 皓、石井貴之、八田尚人
富山県立中央病院 皮膚科**E-7-2****臀部慢性膿皮症から発生した転移性有棘細胞癌の2例**平野 唯（ひらの ゆい）、遠藤雄一郎、瀬尾美貴、山村健太郎、石田雄大、神戸直智、
椛島健治
京都大学 皮膚科**E-7-3****頭蓋骨浸潤を呈した有棘細胞癌の2例に対する集学的治療経験**坂本翔一¹（さかもと しょういち）、青木恵美¹、山村健太郎¹、西原克彦¹、魚住公治²、
上山友子³、久保文克⁴、高木信介⁵、松下茂人¹
¹鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科、²鹿児島医療センター 腫瘍内科、
³鹿児島医療センター 放射線科、⁴鹿児島医療センター 脳神経外科、⁵昭和大学 形成外科**E-7-4****基礎疾患を有する高齢者頭頸部有棘細胞癌に対して放射線治療を行った3例**大塚正樹¹（おおつか まさき）、近藤峻平¹、小倉康晶¹、一戸建志²、戸倉新樹¹
¹中東遠総合医療センター 皮膚科・皮膚腫瘍科、²中東遠総合医療センター 腫瘍放射線科**E-7-5****右踵部に生じた G-CSF および PTHrP 産生紡錘形細胞型有棘細胞癌の1例**深水文恵（ふかみ ふみえ）、楢塚 大、市来 滯、室田浩之
長崎大学 皮膚科・アレルギー科**E-7-6*****TMB-High spindle cell squamous cell carcinoma にペムブロリズマブが
著効した1例**宮里太郎（みやさと たろう）、名嘉眞健太、堤 真宏、嘉多山絵理、武藤一考、
古賀浩嗣、石井文人、名嘉眞武國
久留米大学 皮膚科**E-7-7****抗 PD-1 抗体で加療した頭頸部原発進行期有棘細胞癌 6 例の検討**中山裕一（なかやま ゆういち）、緒方 大、和田昇悟、鶴田成二、松井馨之、
奥村真央、日置紘二郎、中野英司、並川健二郎、山崎直也
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科**E-7-8****超高齢者の皮膚有棘細胞癌の特徴や予後についての単施設実態調査**佐々木奈津子^{1,2}（ささき なつこ）、西原克彦¹、青木恵美¹、松下茂人¹
¹鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科、²産業医科大学 皮膚科

座長：青山 裕美 (川崎医科大学 皮膚科)
 本田 哲也 (浜松医科大学 皮膚科)

SY6-1 オンライン化がもたらした新たな留学の形

加藤裕史 (かとう ひろし)
 名古屋市立大学 皮膚科

SY6-2 コロナ禍におけるサンディエゴでの留学経験について

中村貴之 (なかむら よしゆき)
 筑波大学 皮膚科

14:45~15:45 一般演題 18 【癌研究】

抄録 P. 229

座長：肥田 時征 (札幌医科大学 皮膚科)
 増澤真実子 (北里大学 皮膚科)

E-8-1 血清抗 NY-ESO-1 抗体値が病勢を反映した切除不能鼻腔悪性黒色腫の 1 例

田中 了¹ (たなか りょう)、黒瀬浩史²、宮脇秀徳¹、梅田善康¹、三宅宏徳³、
 福田裕次郎³、河田裕二郎⁴、西村広健⁵、青山裕美¹、岡三喜男⁶
¹川崎医科大学 皮膚科、²川崎医科大学 呼吸器内科、
³川崎医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、⁴川崎医科大学 放射線腫瘍学、
⁵川崎医科大学 病理学、⁶川崎医科大学 免疫腫瘍学

E-8-2 メラノーマ細胞における tumor mutation burden 及び microsatellite instability に対する temozolomide の影響

澤田匡秀¹ (さわだ まさひで)、肥田時征¹、神谷崇文¹、箕輪智幸¹、加藤潤史¹、
 黄倉真恵¹、井戸川雅史²、時野隆至²、宇原 久¹
¹札幌医科大学 皮膚科、²札幌医科大学 フロンティア医学研究所ゲノム医科学部門

E-8-3 リンパ節転移を有さない切除可能有棘細胞癌における新たな予後予測モデルの検討

土居礼一^{1,2} (どい れいいち)、馬場夏希³、加藤裕史⁴、松下茂人⁵、藤本徳毅⁶、
 齋藤晋太郎⁷、浅井 純⁸、石川雅士⁹、名嘉眞武國²、中村泰大¹
¹埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科、²久留米大学 皮膚科、
³福井大学 皮膚科、⁴名古屋市立大学 皮膚科、⁵鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科、
⁶滋賀医科大学 皮膚科、⁷群馬大学 皮膚科、⁸京都府立医科大学 皮膚科、
⁹埼玉県立がんセンター 皮膚科

E-8-4 乳房外パジェット病のアンドロゲン依存性増殖と治療標的としての可能性について：オルガノイドを用いた解析

中村善雄¹ (なかむら よしお)、水上早瀬²、伏間江貴之¹、高松玲佳³、中村康平³、
 西原広史³、滝本哲也³、上野 勝³、佐谷秀行⁴、天谷雅行¹
¹慶應義塾大学 皮膚科、
²JSR株式会社 JSR・慶應義塾大学 医学化学イノベーションセンター (JKiC)、
³慶應義塾大学 腫瘍センターゲノム医療ユニット、
⁴慶應義塾大学 先端医科学研究所遺伝子制御研究部門

E-8-5

悪性末梢神経鞘腫と叢状神経線維腫における TAK1 阻害による抗腫瘍効果

中條聡美 (ちゅうじょう さとみ)、渡邊淑識、延山嘉眞、朝比奈昭彦

東京慈恵会医科大学 皮膚科

E-8-6

皮膚血管肉腫における三次リンパ様構造とがん・精巢抗原を含む腫瘍微小環境

真柄徹也¹ (まがら てつや)、中村元樹²、野尻由佳²、加納慎二²、加藤裕史²、森田明理²

¹いなべ総合病院 皮膚科、²名古屋市立大学 皮膚科

E-8-7

皮膚希少がんに対する抗体薬物複合体治療の可能性

伊東裕美子 (いとう ゆみこ)、伊東孝通、田中由香、種子島桂子、村田真帆、

橋本弘規、中原剛士

九州大学 皮膚科

9:10~11:10 スポンサーードハンズオンセミナー 3

【新時代の針付き縫合糸を用いた皮膚縫合と局所皮弁の実際】

抄録 P. 159

座長：中川 雅裕 (浜松医科大学 形成外科)

橋川 和信 (名古屋大学 形成外科)

講師

橋川和信 (はしかわ かずのぶ)

名古屋大学 形成外科

黒川正人 (くろかわ まさと)

熊本赤十字病院 形成外科

田中克己 (たなか かつみ)

長崎大学 形成再建外科

共催：株式会社ベアーマディック

9:10~11:10 ハンズオンセミナー 3 【がん薬物療法のケーススタディー】抄録 P. 141

座長：茂木精一郎（群馬大学 皮膚科）
谷崎 英昭（関西医科大学 皮膚科）**HS3-1** irAE 後の薬物療法再開について考える緒方 大（おがた だい）
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科**HS3-2** がん薬物療法のケーススタディ こんなときどうする？ irAE伊東孝通（いとう たかみち）
九州大学 皮膚科**HS3-3** 免疫チェックポイント阻害薬による内分泌有害事象の高リスク因子と発症機序岩間信太郎（いわま しんたろう）
名古屋大学 糖尿病・内分泌内科**HS3-4** 老齡マウスモデルの知見から irAE 病態の理解を目指して塚本博文（つかもと ひろたけ）
京都大学大学院医学研究科附属がん免疫総合研究センター
がん免疫治療臨床免疫学部門

13:35~14:40 一般演題 17 【血管肉腫/その他】

抄録 P. 227

座長：浅越 健治（岡山医療センター 皮膚科）
大芦 考平（埼玉県立がんセンター 皮膚科）**G-1-1** 高度な貧血とるい瘦を伴った巨大な石灰化上皮腫の 1 例宮原華子¹（みやはら はなこ）、四十竹麗¹、前田朱美¹、本田理恵¹、伊藤周作¹、内川容子²
¹日立総合病院 皮膚科、²日立総合病院 放射線診療科**G-1-2** 左乳頭部に発生した粘液癌（mucinous carcinoma）の 1 例遠藤麻衣¹（えんどう まい）、山本俊幸¹、阿部貞彦²
¹福島県立医科大学 皮膚科、²福島県立医科大学 乳腺外科**G-1-3** ラロトレクチニブが奏功した転移を伴う皮膚分泌癌の 1 例梅舟莉加¹（うめふね りか）、入澤亮吉¹、早川数馬¹、前賢一郎¹、嶋田善久²、原田和俊¹
¹東京医科大学 皮膚科、²東京医科大学 呼吸器・甲状腺外科

G-1-4 若年男性の手指先端に多発した Pseudomyogenic hemangioendothelioma の 1 例

入江絹子¹ (いりえ きぬこ)、遠藤麻衣¹、向山竜人¹、大塚幹夫¹、山本俊幸¹、増澤幹男²、橋本優子³、箱崎道之⁴

¹福島県立医科大学 皮膚科、²公立岩瀬病院 皮膚科、³福島県立医科大学 病理病態診断学、⁴福島県立医科大学 整形外科

G-1-5 乳癌温存術後の放射線照射部位に生じた血管肉腫の 1 例

前田進太郎¹ (まえだ しんたろう)、堀井幹喜¹、池田智行¹、澤田香織¹、大石京介¹、濱口儒人¹、松下貴史¹、藤井 皓²、谷内克成²

¹金沢大学 皮膚科、²公立能登総合病院 皮膚科

G-1-6* TMB-High を有する頭部血管肉腫に対してペムブロリズマブを投与した 1 例

吉田 諭 (よしだ さとし)、黒尾優太、岩田麻里、白石 研、村上正基、藤澤康弘
愛媛大学 皮膚科

G-1-7 NTRK 融合遺伝子変異を認めた放射線関連血管肉腫の 1 例

大野文嵩 (おおの ふみたか)、伊東孝通、中原剛士
九州大学 皮膚科

G-1-8 血管肉腫と悪性黒色腫を対象としたホウ素中性子捕捉療法(BNCT)第Ⅰ相試験の安全性と初期治療成績の報告

柏原大朗¹ (かしはら たいろう)、中村哲志²、高橋 聡^{3,4}、中野英司⁴、緒方 大³、並川健二郎³、大熊加恵¹、山崎直也³、伊丹 純^{1,5}、井垣 浩¹

¹国立がん研究センター中央病院 放射線治療科、

²国立がん研究センター中央病院 放射線品質管理室、

³国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、⁴国立がん研究センター東病院 皮膚腫瘍科、

⁵新松戸中央総合病院 放射線治療センター

14:45~15:50 一般演題 19 【附属器癌】

抄録 P. 231

座長：山元 修 (鳥取大学 皮膚科)
安田 正人 (群馬大学 皮膚科)

G-2-1* 多発リンパ節転移を伴った汗腺腫瘍の 1 例

中澤亜美香¹ (なかざわ あみか)、加藤雪彦¹、吉田薫子¹、星野 優¹、刈谷隆之¹、山田公人²、安齋眞一³、梅林義弘¹

¹東京医科大学八王子医療センター 皮膚科、²東京医科大学八王子医療センター 乳腺科、

³日本医科大学武蔵小杉病院 皮膚科

G-2-2 両側腋窩リンパ節転移を伴い、皮膚原発アポクリン腺癌、副乳癌・乳癌の鑑別が困難であった 1 例

山川浩平¹ (やまかわ こうへい)、石川秀幸¹、山田顕光²、高瀬宙希³、山中正二³、山口由衣¹

¹横浜市立大学 皮膚科、²横浜市立大学 乳腺外科、³横浜市立大学 病理診断科

G-2-3***眼瞼外脂腺癌より Muir-Torre 症候群と診断した 2 例**

角総一郎^{1,2} (かど そういちろう)、前川武雄¹、松崎友里江¹、佐藤篤子¹、神谷浩二¹、
小宮根真弓¹、大槻マミ太郎¹、柳沢佳子³

¹自治医科大学 皮膚科、²茨城県西部メディカルセンター 皮膚科、
³自治医科大学 がんゲノム医療部

G-2-4**カルボプラチン・パクリタキセル療法が著効した進行期肛門部脂腺癌の 1 例**

茜部穂波¹ (あかなべ ほなみ)、森章一郎²、太田真衣¹、今井聡子¹、秋山真志¹

¹名古屋大学 皮膚科、²豊橋市民病院 皮膚科

G-2-5***脂漏性角化症と鱗屑して乳房に生じた脂腺癌の 1 例**

五影志津¹ (いつかげ しづ)、清原隆宏²、久米典子¹、田嶋亜紀¹、谷崎英昭¹

¹関西医科大学 皮膚科、²関西医科大学総合医療センター 皮膚科

G-2-6**脂腺母斑を母地として発生した脂腺癌の 2 例：当科における脂腺母斑 91 例の検討**

加倉井真主 (かくらい まさかず)、石月翔一郎、安重佳祐、石井良征、乃村俊史
筑波大学 皮膚科

G-2-7**Spiradenocylindrocarcinoma の 1 例**

向山竜人¹ (むかいやま りゅうと)、石川真郷¹、山本俊幸¹、浅井笑子²、小林靖幸³、
泉 美貴⁴

¹福島県立医科大学 皮膚科、²日本赤十字社福島赤十字病院 形成外科、
³福島県立医科大学 病理病態診断学、⁴東京医科大学 医学部医学科

G-2-8**悪性汗器官腫瘍に対する化学療法の有効性に関する国内多施設共同後向き研究**

齋藤晋太郎¹ (さいとう しんたろう)、安田正人¹、緒方 大²、大西正純³、吉川周佐⁴、
稲葉 豊⁵、岡田悦子⁶、加藤潤史⁷、竹之内辰也⁸、茂木精一郎¹

¹群馬大学 皮膚科、²国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、³岩手医科大学 皮膚科、
⁴静岡県立静岡がんセンター 皮膚腫瘍科、⁵和歌山県立医科大学 皮膚科、
⁶産業医科大学 皮膚科、⁷札幌医科大学 皮膚科、⁸新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科